

わくわく コンポストのある暮らし

隔号連載
vol.9

生ごみを堆肥に変えて、野菜やハーブを育て、おいしく味わう……。そんな循環を暮らしの中に無理なく取り入れられるのが、おしゃれなバッグ型のLFCコンポスト。今回は、幼稚園で芽吹いた小さな循環の物語をご紹介します。

撮影／原 幹和 デザイン／広瀬 開 (FEZ) 協力／ローカルフードサイクリング

竹中啓子さん (学校法人神根学園 きぞろ幼稚園園長)

コンポストとの出会いを発見の種まきに

子どもたちの気づきの心を育てています。



「見て、菌ちゃんだよ」と
握って見せてくれた堆肥。



野菜くずや
給食の残りは
「菌ちゃんが
食べやすいように」
小さくして、
コンポストに投入。



「今日も見てみよう」と、
自然と集まる子どもたちと
竹中園長。

「微生物が生ごみを分解して土に変わる不思議を子どもたちは『菌ちゃん』の力とわかっていきます。『菌ちゃん』とともに循環をはぐくんでいます」

15年ほど前、「菌ちゃん先生」と吉田俊道さんの講演を聴き、微生物の力で生ごみを土に変える実践に魅せられました。さっそく、幼稚園でも取り組みを検討しましたが、当時は実現には至りませんでした。そんななか、5年前にYouTubeでLFCコンポストと出会いました。まず自宅で試してみると、失敗することなく手軽に生ごみを堆肥にすることができました。その体験が自信となり、長年温めていた幼稚園でのコンポスト活動への思いを実現する後押しとなりました。

子どもたちは堆肥を握って「見て、菌ちゃんだよ」とうれしそうに見せてくれます。園では、SDGsという言葉は使わず、部屋の掃除をするような感覚で、コンポストも生活の中で自然に体験してほしいと考えています。そして命の循環を感じる場所をつくりたい。何気ない発見が子どもたちの心に引っかかり、それぞれの興味へと育っていく。そんな種まきの園でありたいと思います。

LFCコンポストセット



写真提供/
ローカルフードサイクリング

購入は
オレンジページ
shopで

